



令和6年度

重点・重要事項 提案・要望書



道の駅 若狭美浜はまびより

令和5年9月
美 浜 町



町政推進にかかると重点・重要事項 要望

日頃より、杉本知事はじめ県ご当局各位には、本町の振興、まちづくりに格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本町では、美浜町総合振興計画を柱に、「北陸新幹線敦賀開業」「人口減少対策」など5つの優先施策を掲げ、選択と集中、官民協働による機動的なまちづくりに取り組んでいるところであります。

お陰様で、来春の北陸新幹線敦賀開業を見据えご支援頂いた、三方五湖の「天空テラス」や「電池推進遊覧船」、道の駅「はまびより」等が完成し、こうした施設を活用した観光誘客対策を強力に進めているところであります。

また、今般、原子力政策にかかる国の責務や原子力の最大限活用が明確に示されるなど、将来を見据えた新たな原子力政策が位置付けられ、立地地域が果たす役割が益々大きくなるものと考えています。

しかしながら、本町では、原子力との持続的な共生はもとより、人口減少・少子高齢化対策や安全安心な生活環境の充実、観光の振興や地場産業の振興など喫緊かつ重要な課題に直面しているところであります。

つきましては、町民が「住んでいることに誇りと幸せを実感できるまちづくり」を進めるにあたり、次に掲げる重点・重要事項の解決について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年9月14日

福井県知事 杉本 達治 様

美浜町長 戸嶋 秀樹

目 次

■ 重点要望

- 1 原子力との共生に向けた取り組みについて ……1
- 2 北陸新幹線敦賀開業や大阪・関西万博等
を見据えた観光誘客支援について ……4
- 3 周遊観光等のための地域交通の充実について ……5
- 4 観光おもてなし環境整備について ……7
- 5 福井県園芸研究センターの機能強化について ……9
- 6 美浜町エネルギービジョンの強力な推進について ……9
- 7 地域医療の格差是正について ……11
- 8 廃棄物処理施設整備に対する支援について ……12
- 9 国内最高峰のボート競技拠点化に向けて ……13
- 10 伝統文化継承の更なる支援について ……13

■ 重要要望

- 1 土砂災害特別警戒区域対策(急傾斜地等)について ……14
- 2 河川防災の強化について ……14
- 3 道路の整備について ……15

4	農業農村整備事業について	……15
5	建設発生土の活用について	……16
6	林産物の特産品化に向けた 農地整備及び栽培の支援について	……16
7	畜産振興に向けた総合的な支援について	……17
8	ヒシの流出防止対策について	……17
9	海洋ゴミ処理等にかかる総合的な支援について	……17
10	城跡を活用した観光客誘致支援について	……18

重点要望事項



重点 1 原子力との共生に向けた取り組みについて



【重点要望事項の内容】

1 原子力政策について

(1) 原子力政策の推進について

(防災安全部 原子力安全対策課、エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課)

①GX実現に向けた伴走型地域振興の推進について ※新規

「GX実現に向けた基本方針」や「GX脱炭素電源法」により、原子力政策にかかる、国の責務の明確化や将来を見据えた方向性が示されたが、政策の推進にあたっては、安全安心の最大限の確保を大前提に、立地地域の実情に即した伴走型を基軸とする防災対策や地域振興等を機動的かつ着実に取り組むよう国に要請願いたい。

②バックエンド対策の着実な推進について ※継続

原子力政策の柱の一つとなるバックエンド対策の着実な推進に向け、六ヶ所再処理工場の早期稼働はもとより、中間貯蔵施設・最終処分場の確保関連の法整備など、具体的な将来展望を早期に示し、具現化に向けた対策を強力に推進するよう国に要請願いたい。

(2) 国民理解の醸成について ※継続

(防災安全部 原子力安全対策課／エネルギー政策課)

エネルギー危機に直面し、原子力発電にかかる必要性・重要性について、国民議論が進みつつあるが、十分な状況にはない。また、高校生の意識調査では、エネルギーや原子力への見識を深めたいとの意欲的な意見も多い。こうした状況を踏まえ、機を逸することなく、国が主体となり機動的な国民理解の醸成に努めることを国に要請願いたい。

また、県においても、嶺南と嶺北の間で原子力発電の理解に温度差のある現状を看過することなく、県民理解の醸成に、より一層注力いただくようお願いする。

(3) 廃炉対策について ※継続

(防災安全部 原子力安全対策課／エネルギー政策課)

美浜1・2号機の廃止措置を安全かつ着実に進めるには、放射性廃棄物やクリアランスレベルの廃棄物並びに使用済燃料の搬出、処分が前提であるが不明瞭な状況にある。

については、国が前面に立って処分場の確保、国民理解、法整備など早期解決に向けた取り組みを加速するよう国に要請願いたい。

2 原子力防災対策の充実強化について

(1) 避難道路の多重化（道路新設）について ※継続

(土木部 道路建設課：道路保全課／土木建築課)

本町は、原子力発電所の集積エリアである嶺南地域において、唯一南北に通じる避難道路が整備されておらず、また、滋賀県境山間部には、孤立の恐れのある地域（191世帯、447人）を抱えることから、嶺南の他地域に比べ道路避難の安全度が脆弱であり、地域住民の大きな不安に繋がっている。

そのため、こうした現状や原子力発電所の立地地域が果たす社会貢献度等を十分にご賢察のうえ、国の責務として、安全安心の最大限の確保に繋がる南北方向の避難道路を新設することについて国に強く要請願いたい。

○避難道路の多重化（道路新設）

美浜町新庄～滋賀県高島市間 L = 7.0 km

(2) 避難道路・制圧道路の強靱化について ※継続

(土木部 道路建設課：道路保全課／土木建築課)

原子力災害時の避難や事故制圧に資する幹線道路は、狭窄部や脆弱な山腹法面を抱え、電柱が林立することから、まさかの時の機能不全が憂慮されるなど、大きな不安に繋がっている。

そのため、安全安心の最大限の確保に繋がる、避難道路・制圧道路の局部改良や無電柱化などの強靱化対策を講じることを願います。

○避難道路・制圧道路の強靱化

ア. 国道27号	中心市街地無電柱化	L = 3.7 km
イ. 県道松屋河原市線	狭窄部拡幅、線形改良	L = 3.3 km
ウ. 県道竹波立石縄間線	無電柱化	L = 3.0 km
	狭窄部改良	L = 0.2 km

3 地域振興について

(1) 共創会議における将来像の実行、実現について ※継続

(エネルギー環境部 エネルギー課/まちづくり推進課、エネルギー政策課)

共創会議で示された「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像」は、立地地域発展の大きな柱となることから、その実行、実現に向け、国が主体となり、関係機関と意思の疎通を図りながら、一体的かつ積極的に取り組むよう国に要請願いたい。

(2) 原子力発電所稼働の経済効果を踏まえた地域振興策の拡充について ※新規

(エネルギー環境部 エネルギー課/エネルギー政策課)

原子力発電所が稼働することにより得られる経済効果はもとより、立地地域が抱えるリスクや社会経済活動への大きな貢献度を考慮し、国の関係省庁が連携して地域の実情に即した地域振興策の拡充や「地域支援チーム」によるきめ細やかな伴走型の支援を行うことを国に要請願いたい。

(3) 原子力立地給付金の拡充について ※新規

(エネルギー環境部 エネルギー課/まちづくり推進課)

原子力立地給付金の原資となる電源立地地域対策交付金（電源立地特別交付金相当分）の拡充を図るとともに、原子力発電所の立地市町の理解と協力による再稼働や、40年超運転がもたらす現実的な社会経済活動貢献度等を考慮し、給付金が加算される制度に拡充することを国に要請願いたい。

重点 2 北陸新幹線敦賀開業や大阪・関西万博等

を見据えた観光誘客支援について



【重点要望事項の内容】

町では、町の玄関口であるJR美浜駅前広場の整備や、道の駅「若狭美浜はまびより」と観光農園「HAMABERRY」を整備するとともに、嶺南随一の絶景を誇る三方五湖エリアにおいて、レインボーライン山頂公園や美浜町レイクセンター、電池推進遊覧船、ゴイイチサイクリングルート等、観光の受け皿となる魅力的な環境整備を行い、全国的にも屈指の観光エリアを形成した。

今後、北陸新幹線敦賀開業や大阪・関西万博等を見据え、国内外の観光客の誘致を促進するため、下記事項について特段の支援をお願いしたい。

1 観光誘客活動の支援について ※新規

(交流文化部 観光誘客課：新幹線開業課／観光誘客課)

北陸新幹線敦賀開業を皮切りに、大阪・関西万博やワールドマスターズゲームズ関西等、世界各国から来日するイベントが開催される。国内はもとより、海外からの人流を若狭地域に結集させるため、広報やプロモーション活動について、県が主体となり調整し、関係機関が一体となり、効率的、効果的に実施出来るよう支援をお願いする。

2 観光誘客キャンペーンの展開について ※継続

(交流文化部 観光誘客課：新幹線開業課、嶺南振興局／観光誘客課)

2024「嶺南誘客キャンペーン」については、県が主体となり嶺南市町を牽引し、しっかり展開していただくことをお願いする。

また、キャンペーンが終わった後も、持続的に宿泊や食により経済効果が地域に波及し続けるような仕組みを構築していただくようお願いする。

3 小浜線沿線観光活性化の取り組みについて ※継続

(未来創造部 地域鉄道課、嶺南振興局／観光誘客課、まちづくり推進課)

小浜線沿線活性化については、JR西日本等の関係団体としっかり連携しながら進めていただくとともに、県独自の観光列車やサイクルトレインを運行するなど活性化実現に向けた強力な取り組みをお願いする。

4 アウトドアアクティビティ環境整備について ※継続

(交流文化部 観光誘客課／観光誘客課)

県では、長期ビジョンにおける2040年頃の嶺南地域の将来イメージとして、くらしの先進地「WAKASARIフレッシュエリア」、嶺南の自然と歴史を楽しむインバウンドリゾートを掲げている。

嶺南市町では、豊かな自然を体験できる「ジャパンエコトラック」の登録も視野に入れながら、若狭路アウトドアアクティビティ推進協議会を設置し、将来イメージの推進に努めている。

アウトドアアクティビティ環境の整備のため「ジャパンエコトラック」の登録に向けた調査後に必要となるハード整備への支援をお願いする。

重点3 周遊観光等のための地域交通の充実について



【重点要望事項の内容】

1 広域周遊バスの運行について ※継続

(交流文化部 観光誘客課、嶺南振興局／観光誘客課)

観光資源を有機的に繋ぐ輸送手段として、実証運行中のゴコイチバス形式広域周遊バスの運行が有効と考えることから、観光客の利便性向上に資する継続的な取組をお願いする。

2 観光周遊型XRバスの若狭地域での運行について ※新規

(交流文化部 観光誘客課／観光誘客課)

民間事業者が2024年夏の運行開始を予定している観光周遊型XRバスについて、若狭地域の観光地を含めた運行周遊ルート of 構築について、民間事業者へ働きかけていただくようお願いする。

3 広域路線バスに係る国、県の支援について ※新規

(未来創造部 交通まちづくり課／住民環境課)

北陸新幹線敦賀開業にあわせ、広域路線バスの利便性向上や利用者増を図るため、路線名称を若狭線、菅浜線から「はまびより線(仮称)」、「水晶浜線(仮称)」へ変更し、利用料金を定額とするなど事業者と協議を進めることとしている。

については、重要な二次交通手段となる本路線の維持等に係る強力な支援をお願いする。

4 小浜線キャッシュレス化について ※新規

(未来創造部 地域鉄道課／まちづくり推進課)

小浜線に関しては未だキャッシュレス化されていない。

よって、利用者の利便性のためキャッシュレス決済システムの小浜線への導入について J R 西日本に働きかけていただくようお願いする。

5 北陸新幹線敦賀開業を見据えたダイヤ改正について ※新規

(未来創造部 地域鉄道課／まちづくり推進課)

美浜駅については、観光地を巡るハブとして考えており、美浜町観光の要所となる。

よって、北陸新幹線敦賀開業を見据えた J R 小浜線のダイヤ改正について、J R 西日本に働きかけていただくようお願いする。

6 地域の実情に合わせた観光・イベント列車等の運行について ※新規

(未来創造部 地域鉄道課／まちづくり推進課)

株式会社ハピラインふくいが、観光・イベント列車を運行実施の際には、J R 小浜線への乗り入れについて事業者へ働きかけていただくようお願いする。

また、鉄道会社が J R 小浜線にて観光・イベント列車運行の際には、美浜駅に直結する道の駅「若狭美浜はまびより」やイチゴ観光農園で、ショッピングやいちご狩りを楽しんでいただけるよう美浜駅への停車と停車時間の配慮について働きかけていただくようお願いする。

7 混雑状況配信システムの機能強化について ※新規

(交流文化部 観光誘客課、嶺南振興局／観光誘客課)

観光施設の駐車場の混雑状況等がライブ配信によりリアルタイムで確認できるように整備するとともに、表示盤（デジタルサイネージ）の設置場所の増設をお願いする。

8 個人移動手段の導入支援について ※新規

(交流文化部 観光誘客課／観光誘客課)

観光施設の周遊を促進するための移動手段として、電動キックボードの整備を進めており、整備にあたっての財政支援をお願いする。

9 サイクルステーション備品の整備支援について ※継続

(交流文化部 観光誘客課／観光誘客課)

国のナショナルサイクルルートの指定に向け環境整備を進めている若狭湾サイクリングルート及び三方五湖を周遊するゴコイチサイクリングルートのサイクルステーションの充実を図るため、町内の旅館・民宿等へのサイクルステーション備品の整備支援をお願いする。

重点4 観光おもてなし環境整備について



【重点要望事項の内容】

美しい自然景観を観光の柱とする本町において、来訪者の満足度を向上させるためには、個々の観光スポットだけではなく、そこに至るまでのルートを含め、おもてなし環境の整備を図る必要がある。そこで次の支援をお願いする。

1 海岸漂着ゴミ対策の予算確保について ※継続

(エネルギー環境部 循環社会推進課／住民環境課)

毎年、海岸漂着ごみの対応については、大変苦慮している。県では、令和4年3月に策定した福井県海岸漂着物対策推進計画に基づき、予算措置など所要の施策を進めていただいているところである。

しかしながら、例年の当初予算では夏の観光シーズン前に対応できない箇所があり、景観維持に苦慮していることから、当初予算時点から十分な予算確保をお願いする。

2 周遊道路の安全対策強化について ※継続

(土木部 道路建設課：道路保全課／土木建築課)

レイクセンターやレインボーラインへの交通経路となる県道日向郷市線については、道路線形が非常に悪く交通安全上危険な箇所があり、観光利用面はもとより地元からも改良の要望がある。

今後、大型バスをはじめとする通行車両の大幅な増加が見込まれることから、道路の線形不良箇所や狭隘な区間について早期の道路改良をお願いする。

3 「シンボルロード」の整備について ※継続

(土木部 道路建設課／土木建築課、観光誘客課)

本町は、自然景観に特化した観光地が多く、ドライブやサイクリングなど道路利用者から眺望に対する期待は大きい。

そこで観光地を結ぶ道路を「観光道路」として位置づけ、県と町、地元住民が互いに協力し合い、道守制度やアダプトプログラムを取り入れるなど、きめ細やかな道路管理の仕組みを構築し自然や地域景観を楽しめるよう取り組む必要がある。

また、美浜駅からレインボーラインを結ぶ県道日向・郷市線の一部区間については、地元住民により花壇の管理や清掃による美化活動が行われ、ドライブやサイクリングなど道路利用者からの景観に対する期待度が特に大きい。

よって、その区間を「シンボルロード」（松原交差点から水神公園までの区間約1.6 km）として、次の措置を講じるようお願いする。

（１）シンボルロードの再整備

- ①道路の定期的な除草
- ②歩道修繕
- ③植栽の植替

（２）シンボルロードの管理強化

- ①機動的に管理活動ができる町民参加型の支援体制の構築
- ②管理運営費の支給（町への代行管理制度の導入）

4 浦見川等における安全航行について

（１）安全航行システムについて ※新規

（嶺南振興局／観光誘客課）

二級河川早瀬川水系浦見川（運河）の安全航行対策として、令和4年度に県及び若狭町との連携事業により導入した「安全航行システム」は、漁船はもとより、急増するプレジャーボートや水上バイクなどの安全確保に係る重要な役割を果たしている。

そのため、運用にあたり維持経費などの費用負担をお願いする。

（２）環境整備について ※新規

（嶺南振興局／観光誘客課）

浦見川は、四季折々の彩りを見せる三方五湖遊覧の見どころの一つとなっているが、河川左岸の法面の一部に不安定な箇所が見受けられることから、船舶の安全航行の観点から、必要な措置を講じられたい。

同時に、倒竹や樹木が繁茂しており魅力ある景観を阻害しているため、伐採等の環境整備もお願いしたい。

（３）三方五湖水面等利用ルールの順守について ※継続

（嶺南振興局／住民環境課）

三方五湖水面等利用ルールの順守について、県の主体的な取り組みと関係機関との情報共有の徹底及び連携強化についてお願いしたい。

重点5 福井県園芸研究センターの機能強化について



【重点要望事項の内容】

福井県園芸研究センターの機能強化について ※新規

(農林水産部 園芸振興課／産業政策課)

園芸研究センターを本町の農業人材育成拠点施設と密接に連携させるなど、嶺南地域の風土や環境に適応した農業人材の育成施設として機能強化すべく、新たに人材育成機能を付加していただきたい。

また、この施設の風光明媚な立地特性を活かして、より開かれた研究施設として、スマート農業など先端的な農業体験はもとより、果樹や野菜、花卉溢れる安らぎ空間となるよう機能を更に充実していただきたい。

重点6 美浜町エネルギービジョンの強力な推進について



【重点要望事項の内容】

嶺南Eコースト計画の連携推進について

本町では、「美浜町エネルギービジョン（H29.3策定、R3.3改定）」に基づき、原子力との共生を図りつつ、再生可能エネルギーを活用したまちづくりを推進しているところである。本計画は、県の「嶺南Eコースト計画」等に定める新たな技術等を活用し、更なるビジョンの推進を図って行くこととしている。

については、「嶺南Eコースト計画」と本ビジョンとの強力な連携をお願いする。

1 「きいばす」の充実・強化について

(1) エネルギー環境教育の推進と管理運営体制の強化 ※継続

(教育庁 教育政策課：教職員課：義務教育課、エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課、教育総務課)

本町のエネルギー環境教育体験館「きいばす」を県や国において、次代を担う子どもたちの「エネルギー教育推進」の拠点施設として位置付けること。

また、より高度な「エネルギー教育ゲートウェイ施設」へ深化させ、機動的な活用が図られるよう、施設機能の充実強化はもとより、利活用の促進につながる教育カリキュラムへの登載はじめ、運用面（財源・人材）においても、国とともに県の主体的かつ強力な支援をお願いする。

(2) 新たな試験研究炉との連携による「きいばす」の活用について ※継続

(教育庁 教育政策課：教職員課：義務教育課、エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課、教育総務課)

「もんじゅ」サイトを利用して敦賀エリアを原子力・エネルギーの中核的研究開発拠点とする試験研究炉等の整備が進められているが、その関連施設の計画・整備等に当たっては、地勢的条件から立地市と同等のエリアとして事業推進に協力してきた本町の経緯を十分に考慮し、新試験研究炉等を活用した地域振興について特段の支援を行うことを国に求めるようお願いする。

併せて、本町のエネルギー環境教育体験館「きいばす」との連携を強化し、この地域が新技術等の学習・研究エリア、関連産業エリアとして広く発展できるよう支援することをお願いする。

2 スマートエリアの構築について ※継続

(エネルギー環境部 エネルギー課／まちづくり推進課、土木建築課)

本町のスマートタウン整備構想では、再エネ活用とエネルギーの効率的な利用による環境配慮型の魅力的な居住エリアの構築、また、子育て世代に選択されるまちづくりのモデル地区形成を目指している。

「嶺南Eコースト計画」に位置付ける便利で災害にも強く、環境にも優しいスマートエリア創出へ向けた協力をお願いする。

重点7 地域医療の格差是正について



【重点要望事項の内容】

- 1 嶺南医療圏としての機能の充実について** ※継続、若狭町共通
(健康福祉部 地域医療課／健康福祉課)
嶺南医療圏は医療機能が脆弱であり、原子力災害拠点病院も存在しない。
高度急性期を含む区域内での完結や緊急性の高い疾患の搬送時間短縮のため、医療従事者の確保や施設整備等を強力に推進し、嶺南医療圏において4大病院（県病、福大、日赤、済生会）並みの医療機能充実を図ること。
- 2 安心して子育てできるための医療体制整備について** ※継続
(健康福祉部 地域医療課／健康福祉課、こども未来課)
嶺南医療圏は、産婦人科や小児科の医師が不足しており、総合周産期母子医療センターもない。よって、ハイリスク妊婦や新生児は遠方の病院に搬送されている。
乳幼児予防接種や乳児健診、休日・夜間の小児科診療体制も十分とは言い難い。子育て応援日本一の「ふく育県」実現を目指す県として、安心して子育てできる環境づくりのための改善を図ることを願います。
- 3 レイクヒルズ美方病院への支援について** ※新規
(健康福祉部 地域医療課／健康福祉課)
레이크ヒルズ美方病院は療養病床を有し、急性期病院と在宅療養の中間的役割を担う重要な病院である。病院の機能継続と、指導力・統率力の高い医師（内科あるいは総合診療）の招聘を願います。
- 4 地域医療の充実強化のための医師確保について** ※継続
(健康福祉部 地域医療課／健康福祉課)
へき地診療所（丹生診療所）は、県の支援も受けながら診療業務を行っている。第7次福井県医療計画では、へき地診療施策の基本的方向として医師確保の推進、医療の確保が謳われている。本町は高齢化率が高いことから、在宅医療推進体制整備からも医師が必要である。
丹生地区と敦賀市浦底地区が原子力災害制圧道路によりつながり、敦賀半島唯一の医療機関として、地域医療の維持及び推進を図るためにも丹生診療所への継続的な医師派遣をはじめとする手厚い支援を願います。

5 ヘき地におけるオンライン診療実証事業の検証について ※新規

(健康福祉部 地域医療課／健康福祉課)

現在、取り組んでいただいている「へき地におけるオンライン診療実証事業」について、高齢患者が多いことや診療科目によってはオンライン診療が適さないものもあると思われる。よって、その運用手法や有効性をしっかり検証していただき、より有意義な実証事業となるよう進めていただきたい。

重点8 廃棄物処理施設整備に対する支援について



【重点要望事項の内容】

廃棄物処理施設整備に対する支援について ※新規、教養市共通

(エネルギー環境部 循環社会推進課／住民環境課)

廃棄物処理施設については、生活で発生するごみを適正に処分するために必要不可欠な施設であり、替えのきかない生活の根幹に係る大変重要な施設である。

新しい清掃センターの整備にあたっては、循環型社会形成推進交付金のエネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設の交付対象事業として採択されており、今後、複数年に渡り長期間の工事を行い、令和8年度の完成に向け整備を進めているところである。

しかし、新しい清掃センターの整備については、大規模な財政負担が生じるため、施設の整備完了までの財源確保が必要となる。

今後も、計画的に施設整備を進めるため、交付金対象事業について、その整備が完了するまで確実かつ安定的な財政措置を講ずるよう国に求めることをお願いする。

重点 9 国内最高峰のボート競技拠点化に向けて

【重要要望事項の内容】

ボート競技拠点化施設整備に向けて ※継続

(交流文化部 スポーツ課、教育庁 保健体育課／生涯学習推進課)

半世紀に及ぶ県と町との強力なタッグによる環境整備・普及拡大・競技力向上等の取り組みによって、「ボート王国福井」「ボートの町美浜」は、全国から広く注目される競技拠点へと成長を遂げてきた。

次なるフェーズとして「福井県美浜町」を国際基準の競技環境を備えた国内最高峰となるボート競技拠点とし、「全日本級」さらには「国際級」大会の誘致を図り交流・関係人口の拡大に向けて取り組んで参りますので、引き続きご支援をお願いします。

- ① コース延伸化の早期完成
- ② スタート地点の環境強化対策
- ③ レガシー記念館の整備

重点 10 伝統文化継承の更なる支援について



【重要要望事項の内容】

伝統文化継承の更なる支援について ※新規

(交流文化部 文化・スポーツ局文化課／教育総務課)

祭礼など伝統行事は、地域の人々の心のよりどころとして培われたものも多く、また、コミュニティを維持・醸成するうえで極めて重要なものである。

しかしながら、人口減少、少子高齢化が進む中、新型コロナウイルスの影響もあり、伝統的な文化や芸能の維持・継承が喫緊の課題となっている。また、後継者不足に加え、山車や神輿、衣装、用具の修繕や調達費用などの負担も地域の課題となっている。

町でも文化財保護や地域力向上の観点から、その支援に取り組んでいるが、県としても地域の伝統行事等の維持・継承に強力な支援をお願いします。

重要要望事項



重要 1 土砂災害特別警戒区域対策

(急傾斜地等) について



【重要要望事項の内容】

土砂災害特別警戒区域対策（急傾斜地等）について ※継続

(土木部 砂防防災課／土木建築課)

急傾斜地崩壊対策、土砂災害特別警戒区域対策に対する、継続的な予算の確保についてお願いする。

(1) 急傾斜地崩壊対策

- ①日向（橋坂山）地区
- ②菅浜（塩ヶ崎谷）地区

(2) 土石流対策

- ①丹生（阿弥陀川）地区

重要 2 河川防災の強化について



【重要要望事項の内容】

1 河川等における浚渫について ※継続

(土木部 河川課：砂防防災課／土木建築課)

近年、多発する集中豪雨により水位の急速な上昇が見受けられる河川について、流域住民の安全安心や農地の保全等の観点から、継続して計画的に堆積土砂の浚渫及び護岸の改修をお願いする。

- ①耳川（2級河川）
- ②太田川（2級河川）

2 河川防災強化のための水位計設置について ※新規

(土木部 河川課：砂防防災課／エネルギー政策課、土木建築課)

河川の水位変動を把握するため水位計を設置し、観測データを町のホームページ防災サイト内で閲覧できる環境を整え、大雨時には水位の変化を見て、迅速な避難行動への判断ができるなど、河川防災の強化を図ることについて、特段の支援をお願いする。

重要3 道路の整備について



【重要要望事項の内容】

道路の整備について ※継続

(土木部 道路建設課：高規格道路課／土木建築課)

地域住民の生活空間における安全安心を確保するため、次の道路整備の早期着手をお願いする。

- ① 県道久々子金山線「久々子踏切」の改良
- ② 舞鶴若狭自動車道の4車線化
- ③ 県道日向郷市線道路改良事業の早期完成
- ④ 県道松屋河原市線の歩道整備の早期完成

重要4 農業農村整備事業について



【重要要望事項の内容】

農業農村整備事業について ※継続

(農林水産部 農村振興課／土木建築課)

農業経営の安定と営農効率の向上を図るため、県営による用排水路・農道等、農業基盤の整備事業に対し、継続的な予算の確保をお願いする。

重要 5 建設発生土の活用について



【重要要望事項の内容】

北陸新幹線建設事業や舞鶴若狭自動車道4車線化事業に係る建設発生土の活用について ※継続

(農林水産部 農村振興課、未来創造部 新幹線建設推進課、土木部 高規格道路課／産業政策課、土木建築課)

大量の建設残土は、工事区域に近接する農地の大区画圃場整備の嵩上げ用土として活用することが、経済的、合理的であると考えている。

本町においても受け入れ可能な候補区域が存することから、両建設事業の推進に最大限の協力をしたいと考えており、地元農業者の概念的な合意形成を図るため、次の事項について示して頂きたい。

- ①発生残土量と搬入見込み時期
- ②整備構想概略図の作成・提示
- ③圃場整備事業費の地元負担の考え方
- ④岩砕残土の処分方法と営農への影響
- ⑤法面や水管理の維持管理軽減対策
- ⑥工事期間中の農業所得減収対策

重要 6 林産物の特産品化に向けた 農地整備及び栽培の支援について



【重要要望事項の内容】

林産物の生産に向けた農地整備及び栽培の支援について ※継続

(農林水産部 中山間農業・畜産課：農村振興課：森づくり課／産業政策課)

林産物の生産に向けた取り組みを進めるにあたり、荒廃農地の活用を含めた農地整備及び栽培の支援をお願いする。

重要 7 畜産振興に向けた総合的な支援について



【重要要望事項の内容】

嶺南広域の畜産振興に向けた総合的な支援について ※継続、若狭町共通

(農林水産部 中山間農業・畜産課／産業政策課)

堆肥化施設の運営方針の検討など、今後嶺南エリアにおいて計画的に畜産振興が図られるよう支援をお願いしたい。

重要 8 ヒシの流出防止対策について



【重要要望事項の内容】

ヒシの流出防止対策について ※新規、若狭町共通

(土木部 河川課、エネルギー環境部 自然環境課／産業政策課)

漁業、観光資源等を保全することで、安全・安心及び魅力向上が図られることから、オイルフェンス設置にかかる予算の確保及び維持管理をお願いしたい。

重要 9 海洋ゴミ処理等にかかる総合的な支援について



【重要要望事項の内容】

海洋ゴミの処理等にかかる総合的な支援について ※新規

(農林水産部 水産課／産業政策課)

海洋漂流ゴミについて、沿岸漁業等に支障をきたしているため、回収や処理等について支援をお願いしたい。

重要 10 城跡を活用した観光客誘致支援について



【重要要望事項の内容】

歴史遺産を活かした地域活性化の取り組みについて ※継続

(交流文化部 観光誘客課、嶺南振興局／教育総務課、観光誘客課)

町では、旧丹後街道沿線をヒストリーゾーンと位置付け、地域と協議会を組織し、このエリアを活かしたまちづくりを計画的に進めており、歴史遺産を保全し観光による地域振興の核として活用していくための支援をお願いします。

①国吉城址及び周辺エリアの整備について

国吉城址周辺の自然や歴史的景観、国吉籠城戦関連城砦群等を活かした整備の支援をお願いします。

②嶺南の城跡を盛り上げるための情報発信について

嶺南地域の城跡を観光の新たな魅力としてPRするための情報発信や、各市町が実施する周知の取り組みへの支援をお願いします。

③嶺南の城跡を活用したイベント等の開催について

嶺南各市町での城跡を活かしたイベントや講演会等の企画・開催について、連携及び支援をお願いします。